

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月12日

上場取引所 大

上場会社名 ゲンダイエージェンシー株式会社
 コード番号 2411 URL <http://www.gendai-a.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 正卓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高 秀一

TEL 03-5308-9888

四半期報告書提出予定日 平成24年10月31日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,014	14.8	924	39.4	926	39.1	585	19.2
24年3月期第2四半期	7,854	△21.5	663	△32.0	666	△32.3	491	△8.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 584百万円 (21.0%) 24年3月期第2四半期 482百万円 (△6.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6,971.49	—
24年3月期第2四半期	5,281.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	7,619	4,768	62.6	57,450.09
24年3月期	7,916	5,452	68.9	58,625.80

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,768百万円 24年3月期 5,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
25年3月期	—	2,700.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2,800.00	5,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	4.0	1,800	14.4	1,800	13.7	1,070	△9.0	12,815.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	93,000 株	24年3月期	93,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	10,000 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	83,984 株	24年3月期2Q	93,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

1株当たり予想当期純利益については、当社は当連結会計年度において新たに自己株式を取得したことから、当該取得を反映した予想期中平均株式数を用いて算定しております。なお、予想期中平均株式数は、通期83,493株であります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) セグメント情報等	7
4. 補足情報	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注状況	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、復興関連事業等から国内需要が堅調に推移するも、緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州の債務危機問題や中国経済の成長鈍化等の影響もあり、依然として不確実性の高い状況が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、個人消費低迷の影響を受け、依然として厳しい状況が続いておりますが、大手法人を中心とした積極的な新規出店も見られる等、明るい兆しもありました。

こうした環境下で、当社グループでは、主力の広告事業において販売シェアを拡大していく為、取引顧客店舗数の更なる増加に向けて取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期の売上高は9,014百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は924百万円（同39.4%増）、経常利益は926百万円（同39.1%増）、四半期純利益は585百万円（同19.2%増）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(広告事業)

当第2四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場は、昨年8月以降のイベント広告規制強化の影響に伴い減少した広告需要は大きく回復することなく推移いたしました。加えて、本年7月20日付警察庁丁保発第114号「ぱちんこ営業における広告、宣伝等の適正化の徹底について(通知)」を受け、各パチンコホール企業においては広告出稿を抑制するとともに、同通知に適合した差別化・集客戦略の再構築の動きが続いております。

こうした環境下において、当社は、営業活動を強化し、取引店舗数の増加に努めてまいりました。具体的には、新規出店を予定するパチンコホール企業への広告提案活動を質、量ともに充実させて、新規出店告知案件の獲得率を高めるとともに、これまで主力であった紙媒体以外の媒体やサービスの提案を強化し、潜在顧客からの受注獲得に向けたアプローチを、積極的に進めてまいりました。

これら一連の取り組みの結果、広告事業の売上高は8,941百万円（前年同期比18.4%増）となりました。また、売上高増加に伴うマージン増加の影響により、セグメント利益は1,090百万円（同28.7%増）となりました。

(不動産事業)

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社の(株)ランドサポート（以下、L S社）において、既契約で継続中の2件の賃貸案件以外で新規に成約した案件はありませんでした。

その結果、不動産事業の売上高は72百万円（前年同期比△18.9%減）、セグメント利益は29百万円（同△23.7%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は7,619百万円となり、前連結会計年度末比△296百万円の減少となりました。これは、主に自己株式の取得や利益配当等により現金及び預金が△358百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は2,851百万円となり、前連結会計年度末比387百万円の増加となりました。これは、未払法人税等が363百万円、長期借入金（一年内含む）が455百万円それぞれ増加する一方で、買掛金が△174百万円、短期借入金△200百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産合計は4,768百万円となり、前連結会計年度末比△683百万円の減少となりました。これは、四半期純利益585百万円を計上する一方で、自己株式の取得△896百万円および利益配当△372百万円があったこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益932百万円を計上したことに加え、前期決算に係る法人税等の還付額134百万円があったこと等により1,104百万円の収入（前年同期は547百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として投資有価証券の取得による支出△430百万円があったこと等により△450百万円の支出（前年同期は△46百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入が600百万円あった一方で、短期借入金の返済△200百万円、前期決算に係る期末配当金の支払△372百万円、及び自己株式の取得△896百万円があったこと等により△1,012百万円の支出（前年同期は△826百万円の支出）となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物は当第2四半期において△358百万円減少し、3,331百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、計画を上回って推移いたしました。

しかしながら、本年7月20日付警察庁丁保発第114号「ぱちんこ営業における広告、宣伝等の適正化の徹底について(通知)」の通達以降、当社グループの主要クライアントであるパチンコホールでは、同通知に適合した差別化・集客戦略再構築の動きが続いております。

そのため、当下期においても広告需要は引き続き不安定な状況が続くものと予測しておりますが、現時点においては、その影響額の算定が困難なことから、通期の連結業績予想については前回発表予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更、修正再表示
該当事項はありません。
- (4) 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,696	3,338
受取手形及び売掛金	2,410	2,194
繰延税金資産	35	38
未収還付法人税等	96	—
その他	97	94
貸倒引当金	△4	△1
流動資産合計	6,332	5,664
固定資産		
有形固定資産		
土地	767	767
その他(純額)	91	89
有形固定資産合計	859	856
無形固定資産	82	78
投資その他の資産	641	1,020
固定資産合計	1,583	1,955
資産合計	7,916	7,619
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,305	1,131
短期借入金	300	100
1年内返済予定の長期借入金	228	348
未払法人税等	23	386
その他	292	235
流動負債合計	2,150	2,202
固定負債		
長期借入金	284	620
資産除去債務	18	18
その他	10	10
固定負債合計	313	649
負債合計	2,463	2,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,637	3,850
自己株式	—	△896
株主資本合計	5,452	4,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△1
その他の包括利益累計額合計	—	△1
純資産合計	5,452	4,768
負債純資産合計	7,916	7,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,854	9,014
売上原価	5,743	6,856
売上総利益	2,110	2,158
販売費及び一般管理費	1,447	1,233
営業利益	663	924
営業外収益		
受取利息	7	1
受取配当金	1	0
助成金収入	1	—
還付加算金	—	4
その他	3	3
営業外収益合計	14	9
営業外費用		
支払利息	10	5
その他	0	1
営業外費用合計	11	7
経常利益	666	926
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産除却損	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	663	932
法人税、住民税及び事業税	178	347
法人税等調整額	2	0
法人税等合計	180	347
少数株主損益調整前四半期純利益	482	585
少数株主損失(△)	△8	—
四半期純利益	491	585

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	482	585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△1
その他の包括利益合計	△0	△1
四半期包括利益	482	584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	491	584
少数株主に係る四半期包括利益	△8	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	663	932
減価償却費	82	36
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△4
受取利息及び受取配当金	△8	△1
支払利息	10	5
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	△237	217
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△0	△1
仕入債務の増減額 (△は減少)	242	△174
その他	3	△2
小計	751	1,001
利息及び配当金の受取額	8	0
利息の支払額	△10	△5
法人税等の支払額	△202	△27
法人税等の還付額	—	134
営業活動によるキャッシュ・フロー	547	1,104
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22	△18
無形固定資産の取得による支出	△31	△30
投資有価証券の取得による支出	△0	△430
投資有価証券の売却による収入	—	24
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△2
敷金及び保証金の回収による収入	8	12
その他	—	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46	△450
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	△200
長期借入れによる収入	—	600
長期借入金の返済による支出	△114	△144
自己株式の取得による支出	—	△896
配当金の支払額	△260	△372
少数株主への配当金の支払額	△251	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△826	△1,012
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△325	△358
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	24	—
現金及び現金同等物の期首残高	3,482	3,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,182	3,331

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月18日開催の取締役会において、会社法第459条第1項第1号の規定による当社定款の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項を決議し、普通株式10,000株を896百万円にて取得いたしました。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告事業	中古遊技機 売買仲介事業	不動産事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	7,548	215	89	7,854	—	7,854
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,548	215	89	7,854	—	7,854
セグメント利益又は 損失(△)	847	△30	38	854	△191	663

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△191百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△191百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告事業	不動産事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,941	72	9,014	—	9,014
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,941	72	9,014	—	9,014
セグメント利益	1,090	29	1,119	△194	924

(注) 1. セグメント利益の調整額△194百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△194百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
折込広告	5,885	115.0
販促物	1,377	90.6
媒体	534	154.3
その他	1,144	202.8
広告事業計	8,941	118.4
不動産事業	72	81.1
合計	9,014	114.8

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。